

<b>学校教育目標</b>	自ら学び、自他を大切にして、社会に貢献する生徒を育てます			
	「自ら学び」(知) 「自他を大切にして」(徳)と(体) 「社会に貢献する」(公)と(開)			
<b>学校概要</b>	創立 80 周年	学校長 松田 哲治	副校長 吉田 英人	3 学期制 一般学級：18 個別支援学級：5
	児童生徒数： 637 人	主な関係校： 中和田小学校・和泉小学校・伊勢山小学校・上飯田小学校		

<b>教育課程全体で 育成を目指す資質・能力</b>	<b>中和田中 ブロック</b>	<b>小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組</b>
【探究】 自ら考え、失敗を恐れずに根気強く取り組む力 【共生】 多様性を理解し、他者を尊重して互いに成長する力	中和田中学校 中和田小学校 和泉小学校 伊勢山小学校 (上飯田小学校)	自ら進んで学びに向かう児童生徒 互いの良さを認め合える児童生徒 ・各教科等における探究活動にICTを活用することで、児童生徒が主体的に学習に取り組み、表現する力を育てる。 ・小中の授業交流では、子どもの姿をもとに協議を行い、小中の一貫教育を進め、義務教育9年間で育てる児童生徒像を共有して共通目標の実現を図る。

<b>中期取組目標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業や特別活動を通じて、達成感や自己有用感を得られるように取組の充実を図ります。</li> <li>・道徳教育の充実と人権教育の推進を図り、生命を大切にする心や他人を思いやる心、規範意識を育てます。</li> <li>・生徒が一人ひとりの個性を認め合い、互いに高め合おうとする姿勢を育みます。</li> <li>・特別支援教育の充実を図り、生徒一人ひとりの気持ちに寄り添い、生徒への指導・支援に取り組みます。</li> <li>・地域活動に積極的に参加し、地域とのつながりを強めることで、地域社会に貢献できる力を育てます。</li> <li>・地域と連携したキャリア教育の実践により、職業観の育成を図ります。</li> </ul>
---------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

重点取組分野		具体的取組
<b>知</b>	<b>学習の指導と評価</b>	①生徒が学びの目的に応じた手段を選択できるようICTの活用や授業形態の工夫など、授業の工夫、改善を行う。 ②学習状況調査や学校評価、授業評価アンケートの結果をもとにして、各教科で授業改善を図る。
<b>徳</b>	<b>人権教育</b>	①生徒一人ひとりが個性を認め合い、人権を尊重した学びをすすめる。道徳の授業は授業担当者をローテーションして実施し、学校教育全体で人権を意識した活動に取り組む。 ②国際理解や人権作文コンテストへの参加、研修会等を通して生徒や教職員が人権感覚をみがく機会を設ける。
<b>体</b>	<b>健康教育</b>	①心身の健康の保持増進のため、新体力テストの結果分析から、個々の体力向上を目的とした運動を設定し、生活習慣の改善を図る。②体育的行事において、体力向上とともに心の健康を含めた広範囲での健康習慣を意識するような活動をめざす。さらに、生徒が主体となった運営を行うようにする。③各地で発生した様々な災害から、災害予防・災害時の身の安全・災害復旧に向けた活動を見直し、より実践的な防災行動につながる取組を図る。
<b>公開</b>	<b>SDGs達成の担い手 育成 (ESD)</b>	①現代社会における諸課題を自らに関わる問題として主体的にとらえ、その解決に向け自分で考え行動する力を身に付ける活動を行う。 ②すべての学習者が、持続可能な社会を実現するために必要な知識及び技能を習得できるようにする。
<b>いじめへの対応</b>		①毎月いじめ防止対策委員会で生徒の状況確認を行い、対応が必要な問題に関しては今後の動きを考え、共有していく。定例に限らず、状況によって臨時の委員会を開き、早期対応していく。 ②生徒相談アンケートの継続実施をして生徒一人ひとりに寄り添う。 ③StudyNavilによる健康観察の記入を全校で呼びかけていく。
<b>人材育成・ 組織運営(働き方)</b>		①機能的な学校運営が図れる組織を主幹教諭を核にして編成し、それぞれの分掌等でOJTを推進する。メンターを含め実効性のある研修の機会を設ける。 ②ICT機器の活用を一層推進、学校現場のDX化を図り、様々な人材を積極的に登用して職場環境の改善に努め、教職員の負担軽減に取り組む。
<b>地域学校協働活動</b>		①「Sudajii's cafe」を放課後の生徒の居場所の一つとしてより一層定着させる。 ②「地区別懇談会」「ふれあい清掃」「スプリングコンサート」といった諸行事を活用し地域の方と中学生が交流できる場を設ける。 ③地域学校協働本部と連携しながら生徒や保護者の安心できる居場所の整備に努める。
<b>特別支援教育</b>		①登校支援と学習支援を柱として校内ハートフルを推進する。生徒一人ひとりに応じて支援のバランスを調整し、安心して学校生活を送れるような環境を整える。 ②今年度からスタートする「中和田中学校どこでもスタディ」の周知と推進をはかる。
<b>生徒指導</b>		①生徒が安全安心な学校生活を送れるようにするために、複数職員で校内の全フロアを巡回し、生徒を見守る体制を作る。 ②生徒相談アンケートを毎月実施し、実態把握を全体で行い、きめ細かな対応が出来るように動く。 ③Y-Pアセスメントを通じて、学級や学校の風土を把握し、それを職員全体で共有することで、生徒とのかかわりをより良いものにしていく。